

「軽井沢スキーバス事故対策検討委員会」中間整理（案）について

- 本年1月15日に発生した事故(乗客13人、乗員2人死亡)を踏まえ、関越道の事故(平成24年4月)後の対策を含むこれまでの安全対策を徹底的に再検証し、貸切バスをめぐる構造問題を踏まえつつ、実効性のある再発防止策の方向性を取りまとめたもの。

- 検討のポイントは、
 - ・ 貸切バス事業者に対する事前及び事後の安全性のチェックの強化
 - ・ 運転者の技量のチェックの強化
 - ・ ハード面の安全対策の充実
 - ・ 旅行業者等との取引環境の適正化
 - ・ 利用者に対する安全性の「見える化」

- 再発防止策は実施可能なものから順次実行に移すことを、工程表とともに提言。特に速やかに講ずべきとされた対策の例としては、
 - ・ 悪質事業者に対する厳格な処分
 - ・ 新規雇入運転者等への実技訓練やドライブレコーダー装着の義務付け
 - ・ 利用者への貸切バス事業者名の提供、下限割れ運賃等の通報窓口の設置

- 検討委員会は、今後「総合的な対策」の取りまとめに向け、議論を継続。